

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年11月20日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870500410		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム ひまわり	ユニット名	西
所在地	〒315-0023 茨城県石岡市東府中1-10		
自己評価作成日	平成 28年11月 20日	評価結果 市町村受理日	平成29年5月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870500410-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870500410-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成29年1月25日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホール内の作りが広がっていることを利用し、ボランティアのカラオケや踊りを楽しみ、コミュニケーションをとり癒しの場となっている また季節の花を育て楽しまれている
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者は、自分の親を介護しているという視点に立って介護をするよう職員に伝えている。 職員は家庭的な雰囲気の中で利用者に寄り添い、その人らしい生活が出来るように支援しているため、入所当初は不穏な利用者も徐々に落ち着きを取り戻し、穏やかに過ごしている。 また、地域ボランティア主催のカラオケ大会に、利用者が参加し、ドレスを着て舞台に立ち、自慢の歌を披露するなど地域とのかかわりも積極的に行っている。 事業所は、運営母体が医療法人のため、24時間の医療連携体制がとれ、また救急搬送体制も整っており、利用者・家族・職員の安心につながっている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型の意義を踏まえその人らしく生活していけるよう、職員全員が事業所理念を共有・実践につなげている	理念は、事務室や各ユニットに掲示しており、月1回の職員会議（カンファレンス）時やネームの裏に携帯し意識付けしている。 職員、管理者で理念の隣に掲示している「地域でゆっくり過ごす」を理念に入れてはどうかと検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設周辺に散歩にでかけ地域の方と挨拶を交わしている	自治会には加入しておらず、地域の活動には参加していないが、中学生の職場体験の受け入れを行ったり、事業所前のコンビニや近くのしまむらへ散歩がてら出かけて地域住民と挨拶を交わすなど、交流を図っている。 踊りや月1回のカラオケなどのボランティアの受け入れをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の様々な研修、会合に関わりながら、認知症ケアの啓発に努めている。人材育成の貢献として実習生の受け入れも積極的に行っている	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	情報交換や意見について職員が共に共有し、質の向上に活かしている	運営推進会議は、家族等の代表、市町村職員、在宅介護支援センター職員、民生委員、地域住民（区長）、管理者、法人統括、職員で2ヶ月に1回行ない、利用者の状況報告や行事報告などを行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	現場や利用者の課題解決の為に、市町村の理解や支援が必要 相談事項に応じて実直に対応してもらえるような市町村職員と関係がとれている	運営会議に市の担当者が出席している。生活保護者や緊急の受け入れが多くあり、市の包括支援センターとの相談や面会など良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	本人の思いや身体力を活かしながら、安全に過ごせる工夫を重ねている	身体拘束排除に関するマニュアルがあり、折にふれユニットで話し合いもしているが、研修を行うまでには至っていない。現在、身体拘束をしている利用者はいないが、同意書があり、経過観察記録や再検討記録も整備されている。	身体拘束のマニュアルを基に職員に対しての研修を行うことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	不適切なケアについて話合ったり、決してしないという確認がなされていかなければならない		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は自立支援事業や成年後見制度について情報を得、又、学ぶ機会がある時には進んで学び支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居される利用者や家族に不安や疑問点など理解が得られるまで説明している	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は家族が面会に来た時や電話により家族の意見や要望を聴く機会もあり、又、玄関には意見箱を置き運営に反映させている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者との日常的な関わりの中で生まれる職員の気づきやアイデアを運営に取り入れている	日頃から話し易い雰囲気づくりをしており、随時管理者に話をしにくるとともに、月1回の職員会議時に意見を聴いている。 利用者に排泄用パッドを使用したほうがよいのでは、との意見があり、職員で話しあった結果、様子を見ながら個々にあったパッド使用での対応ができた。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	健康診断の实地等職員の心身の健康を保つ為、健康診断のほかに胃カメラ（ピロリ菌）、便潜血検査を強く力を入れている	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	それぞれの職員の立場や経験に応じて、計画的な人材育成に取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市役所の参加もある地域密着型介護サービス事業者協議会に加入し、その中で2ヶ月に1回研修を設け、積極的に参加している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の気持ちを受け止め、本人の声に耳を傾けながら関係性を築いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が求めているものを理解し、施設としては、どのような対応ができるのか、事前に話し合いをしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人のご家族の思い、状況等で確認し、改善に向けた支援をしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様を支援されるのみの立場と考えず、本人思いを共感し、理解し、利用者様から職員が励ましてもらう時もみられている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には日頃の様子を報告したり、職員の思いを伝える事で家族と職員の思いが少しずつ重なり、本人を支えていくための協力関係が築ける事が多くなっている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人が来所された時には、気兼ねなく居室でお茶など飲み関係を維持していくよう支援している	日々の生活の中での会話や関わりなどから馴染みの人や場所などの把握に努めている。 面会者にお茶などで接待したり、馴染みの店へ買い物に出かけるなどしている。 自宅への外泊や外出、家族等との外食や墓参りなど関係継続が出来るよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	みんなで楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面づくりをしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も気軽に立ち寄り相談できるような関係を心がけている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の言葉や言葉にしづらい思いを日々の行動や表情から把握している	利用者の表情や仕草、態度から思いや意向の把握に努め、ユニット会議で職員に周知している。把握した内容を業務日誌に記入したり、職員会議で報告している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ひとり一人の利用者についてその人独自の生活歴を把握している		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の過ごし方や本人の状態を全員で確認している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には日頃のかかわりの中で思いや意見を聞き、反映させている	管理者、職員、計画作成担当で作成している。介護計画は、本人にサインをもらうとともに、面会時や郵送で家族等に周知している。介護計画は基本的に1年で見直しを行っている。モニタリングは3ヶ月毎に行い定期的な見直しをしているが、利用者や家族等の要望や状況の変化に応じて随時見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は個々のケア記録に記載し、職員間の情報共有を徹底している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態や家族の意向に配慮しながら、家族の満足度を高めるよう努力している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう、地域包括支援センター、民生委員、地域の人の力を借り、情報交換、協力関係を築いている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院はご家族が対応できるのであれば、希望に応じて対応している。母体が病院なので、基本的には他受診の場合は家族対応となっている	協力医療機関の医師による診療が月1回、訪問歯科診療は利用者の希望で訪問診療を行なっている。母体が病院なので24時間対応で病院に搬送体制が整っている。 受診の結果について、家族等には電話や来訪時に、また変化があった時に報告している。 職員には、申し送りノートで報告し、ケースファイルに記録している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃より訪問看護師とは気軽に相談できる状況にあり関係づくりを行っている		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には医療機関と協働しながら、家族とも関係づくりを行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末きを迎えた場合には、家族と十分な話し合いをし、関係者と連携を取り支援に取り組んでいる	契約時に利用者や家族等に看取りは行わないが、できるだけ施設で暮らせるように支援をすることを説明し、同意書を得ている。また、状況の変化に応じた繰り返しの話し合いと、段階的な合意を行なっている。職員は外部研修に参加しているが、内部研修を行うまでには至っていない。	外部研修で学んだことを職員会議等で内部研修として職員に伝達することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備え職員が初期対応できるよう日頃より取り組みに向け支援している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、避難訓練を年2回業者とタイアップし、点検通報訓練など実施している	火災訓練以外に、夜間想定を含めた避難訓練を年2回以上行なっている。実施記録には課題が明記されている。災害に備え、米や水等の食料品、懐中電灯、おむつ類、毛布、ラジオやカセットコンロ、ブルーシートなどを備蓄しているが、賞味期限等を記載した一覧表の作成を行うまでには至っていない。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者として敬意を払い馴れ合いの中で本人の威厳を無視した対応にならないよう配慮している	プライバシーに関する内部研修をしており、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに配慮し、カンファレンス時に話し合いをしている。 運営規定には個人情報に関する規定があるが、同意書がなく、家族の同意を得るまでには至っていない。	個人情報に関する同意書を早急に整備することを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のなかで、ひとり一人の力に合わせて、利用者自身が決定する場面を作れるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の流れはあるが、ひとり一人のペースを大切にし、それに合わせた対応を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃から化粧やおしゃれを楽しんでいられるよう、取り組みをしているその人らしさを保てるようなお手伝いを心掛けている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみな物になるよう、食事への関心を引き起こすための工夫をしている	法人の管理栄養士が献立を立てており、自家菜園の野菜等を食材に使用している。 利用者は、テーブル拭きや下膳などを行っている。 家族等の協力を得て、近くのレストランで外食ができるよう計画をたてている。 行事食を提供したり、音楽などを流して楽しく食事ができるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取量・水分量を確保できているか、確認し状態に合わせた支援に心がけている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その人にあった口腔ケアを食休み後本人の力で行える方でも見守りし、難しい利用者に対しては介助で行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を使用し、時間を見て誘導しトイレでの排泄できるよう支援している	排泄チェック表から一人ひとりのパターンを把握し、さりげない声かけをして誘導している。 入居当初はおむつを使用していた方をトイレで排泄ができるように誘導し、リハビリパンツとパットに移行することができた。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し、十分な水分補給と毎日の軽い運動を行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者が自分のペースでゆっくり浴槽でくつろぎながら入浴できるよう支援している。また、服を脱ぐことを嫌がる利用者には、安心感を持ってもらうよう工夫をしている	基本週2回午前中となっているが、利用者の意向にそっていつでも入浴できるようになっている。 入浴を拒む利用者には、時間の変更や職員を替えるなどし、清拭対応や足浴などでも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	地域密着型の勉強会に参加し、薬剤師から直接話しを聞き、薬に対する理解を深めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員主導の画一的な楽しみごとの提供や役割づくりにならないよう、ひとり一人把握し、支援するようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族と一緒に外出し、食事を楽しまれたり家族の協力を得て外出ができるよう支援している	天気の良い日は近隣を散歩したり、職員が同行して買い物に行ったりしている。車いすの利用者も一緒に外出している。毎月来訪するカラオケボランティアが主催するカラオケ大会に、市のバスを借りて参加した。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族ごとに様々な意向をもっているため、家族と相談しながら、本人が満足得られるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	日常的に手紙などを投函できるように支をしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって使いやすい配置や馴染みのものを上手に取り入れ、過ごして行けるよう工夫している	玄関には手作りの干支やひな人形が飾られており季節感が感じられる。居間兼食堂は広く利用者の作成した塗り絵やくす玉が飾られている。小上がりの和室やソファ、椅子が用意されており利用者が心地よく過ごせるようになっている。トイレは数か所にあり車いすでも利用できるように広く、手摺が設置され、浴室にはエアコン・手摺・シャワーチェアが設置されており、利用者に合わせて入りやすいようになっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室やホールで本など読んだり横になれる時間を静かに見守りし、自分の時間を過ごせるようになっている	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や思い出の品々が持ち込まれ、居心地よく過ごせるようを配慮している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせて環境整備に努めている	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 平成29年5月25日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束のマニュアルを基に職員に対して研修を行う事。	身体拘束排除に関する研修をして行く。	同意書は今まで通りに頂くと共に、身体拘束排除マニュアルについて研修実地する。	1年
2	33	外部研修で学んだ事を、職員会議等で内部研修として職員に伝達する事。	月に1度のカンファレンス後に内部研修していく。	毎月外部研修で学んだ事を、職員に内部研修する。	現在実施している。
3	36	個人情報に関する同意書を早急に整備する事。	早急に同意書を得て、書面を記載していく。	個人情報を使用する場合は、使用目的を明記して、利用者や家族等に書面で同意を得る	現在実施している。
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。